

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

## 1.1. 製品の特定

製品名： ノズルフレッシュ 351 (300g)  
 製品コード： 38001  
 主な用途： 溶接半自動・自動トーチノズルのスパッター付着防止

## 1.2. 会社情報

会社名： 石原薬品株式会社  
 住所： 〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5番26号  
 連絡先： 第一営業部 整理番号： 08017-3  
 連絡先電話番号： 078-681-4801 FAX 番号： 078-651-6784  
 制定日： 1992年4月6日 改訂日： 2009年8月4日

## 2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

含有成分及び含有量

成分名化学名	含有量 mass%	CAS	化審法	安衛法	PRTR法	毒劇法
高分子脂肪族炭化水素	100	8009-03-8	非該当	非該当	非該当	非該当

注) 化審法 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号  
 安衛法 労働安全衛生法（安衛法）第57条の2第1項政令指定物質の政令番号  
 PRTR法 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の政令番号  
 毒劇法 毒物及び劇物取締法の政令番号

## 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響： 分類基準に該当しない

人体への影響： 吸入・飲用不可。

皮膚への接触 ... 現有情報からは、通常取扱では危険有害性は低い。加熱溶解したものの場合、やけどに注意する必要がある。

吸入の場合 ... 微粒子状のものを吸入した場合、肺の障害を引き起こす恐れがある。

環境への影響： 有用な情報なし

物理的及び化学的危険有害性： 非危険物（可燃性固体類）

特定の危険有害性： 有用な情報なし

分類の名称 分類基準に該当しない

## 4. 応急措置

目に入った場合： 通常は救急措置を必要としない。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している

場合ははずし、直ちに多量の清浄な流水(冷水)で15分以上洗眼し、瞼の裏まで完全に洗うこと。眼用軟膏を使用しないこと。もし刺激等の異常があれば直ちに医師の診断を受けること。加熱溶融した製品は火傷を引き起こす恐れがある。

皮膚に付着した場合：緊急の措置は必要無い。皮膚に接触・付着した場合、付着液を紙・布等にてふき取り、もし衣類が汚染した時は脱ぎ、触れた部位を多量の水又は石鹼を用いて洗浄すること。皮膚外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、速やかに医師の診断を受けること。加熱溶融した製品(火傷を引き起こす)に接触した場合、直ちに患部を冷水に浸すか、あてるかして冷やし、医師を呼ぶ。

吸入した場合：医師の診断を受ける必要がある。呼吸困難又は、チアノーゼ(青藍色症)の特徴が現れたら資格を持つ人により酸素吸入を行う。呼吸していない場合は、人工呼吸を行う。エアゾール状煙を吸入した場合は、新鮮な空気の場合に移動させる。吸入により肺浮腫又は肺炎を引き起こすことがある。後遺症が生じることがあるので被災者は最低48時間医学的観察を受けること。加熱溶融した製品は火傷を引き起こす恐れがある。

飲み込んだ場合：摂取しても有害ではないが、症状に応じて医師の診断を受けること。加熱溶融した製品は火傷を引き起こす恐れがある。

## 5. 火災時の措置

消化剤：油火災と同じように扱う

小さな火の場合：泡、粉末、炭酸ガス

大きな火の場合：泡消火剤または水霧消火剤、水噴霧タイプ

使ってはならない消火剤：水(油が水に浮き、火が飛散する)

火災時の特定の危険有害性：酸化炭素類、微量の不完全燃焼した炭素化合物

消火方法：

- ・可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除く。
- ・消火作業は、適宜な消火器を用いて、風上から行なう。
- ・周辺火災の場合は、移動不可能な場合は周辺に散水し冷却する。
- ・高温の密閉容器には水を掛けて冷却する。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行なう者の保護：大規模火災には、適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク)を着用する。

火災時、酸化炭素類、微量の不完全燃焼した炭素化合物が発生する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・漏出付近から着火源・高温体及び可燃性のものを速やかに取り除く。
- ・加熱溶融した製品を取扱う場合、耐熱保護具(手袋、長袖、エプロン等)を使用する。
- ・床に垂れた場合、滑り易くなるので、垂れないように注意して使用する。
- ・着火に備えて、適宜な消火器具を準備する。
- ・作業の際には、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用する。
- ・大量の場合、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の出入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- ・ 河川や一般排水溝等に排出しないように注意する。万一この製品が侵入した場合、ポンプを使い空容器に吸い上げる。（この製品は水に対し不溶性であり、水面に浮く）

#### 除去方法

- ・ 少量の場合： 乾燥砂、土、その他不燃性の物を用いて吸着させて、空容器に回収する。その後、完全にウエス等でぬぐい取る。
- ・ 多量の場合： 冷やし固めた後にシャベルで空容器に回収する。かなり多量の場合は、ポンプや掃除機を使い、再利用するために綺麗な容器に移しとる。危険を避けるためにもれを止める。下水に流してはならない。
- ・ 海上の場合： オイルフェンスを展開し拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には、運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
- ・ 室内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて換気を行なう。
- ・ 衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・ 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い：

#### 技術的対策

- ・ 周辺での火気、スパーク、高温物の使用は避けること。容器の近くで穴あけ、穿孔、研磨、溶接をしてはいけない。
- ・ 火気厳禁。
- ・ 蒸気及び噴霧されたミストを吸い込まないようにすること。
- ・ 暴露防止のために、皮膚・眼・顔を保護する適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護前掛け、ゴーグル等）を着用すること。
- ・ 取扱い後は手洗い、うがい、洗顔を十分に行なう。作業衣等に付着した場合は着替えること。休憩室などに手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
- ・ 静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用すること。工具は、火花防止型のものを使用すること。
- ・ 飲まないで下さい。
- ・ 火気のある所では取り扱わないこと。
- ・ 点火により残留蒸気が爆発することがある。
- ・ 使用済みウエス、ワックスカス、スプレーダストなどは、廃棄するまで火災を起こさないような容器に入れておくこと。

#### 注意事項

- ・ 換気のよい場所で使用し、容器は使用ごとに密栓すること。
- ・ 蒸気発生源は密閉化するか局所排気装置を設ける。
- ・ 常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意すること。
- ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしないこと。
- ・ 川、下水溝などに流出させないこと。
- ・ 消防法の危険物であるので、消防法の取扱い注意事項に従うこと。

### 保管：

## 適切な保管条件

- ・ 容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になる所を避け、風通しの良い 10 以上の冷暗所（室内保管が望ましい）で保管すること。
- ・ 保管は、周辺での火気、スパーク、高温物との接近する場所を避けること。また、静電気蓄積を避けること。
- ・ 火気厳禁。
- ・ ボイラー等熱源付近には置かないこと。
- ・ 子供の手の届かないところに保管すること。
- ・ 保管場所で使用する電気器具は、防爆構造とし、器具類は設置する。
- ・ 90 以上になるところには置かないこと。

## 保管：

- ・ 空容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがある。
- ・ 容器を溶接・加熱・穴あけまたは切断しないこと。爆発を伴って残留物が発火することがある。

## 8．暴露防止及び保護措置

設備対策：	取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確にする。取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないように設備すること。	
管理濃度：	設定されていない	
許容濃度：	TWA： 5.0 mg/m <sup>3</sup> （鉍油ミスト / ACGIH） STEL：10.0 mg/m <sup>3</sup> （鉍油ミスト / ACGIH）	
保護具：	目の保護具	目にかからないように注意すること。飛沫が飛ぶ場合には側版付眼鏡を着用すること。
	呼吸保護具	加熱、噴霧等により蒸気やミストが発生する場合は、ミストフィルター付きのマスクを使用すること。
	皮膚の保護具	皮膚との接触を最小限に抑えるために、長袖の保護着を使用すること。加熱溶融状を扱う場合は、つなぎを使用すること。不浸透性保護手袋を使用すること。
	その他	導電性安全靴を使用する。作業着が汚れたら、着替えて洗濯をすること。作業中に飲食してはならない。

## 9．物理的及び化学的性質

外観：	淡黄色～黄褐色半固形状の軟膏よう物質	放射性：	なし
pH：	適用外	引火点：	204 以上（COC-ASTM D92）
融点：	38～60	オクタン/水分配係数：	log POW: > 6（油に可溶）
密度：	0.815～0.880（@60 / 25）	溶解度 水：	不溶
蒸気圧：	0.005hPa以下（0.00mmHg at 20）	臭気：	無臭

## 10．安定性及び反応性

可燃性：	あり。
酸化性：	有用な情報なし

発火性（自然発火性）： なし  
 自己反応性・爆発性： なし  
 安定性： 一般環境下で安定。  
 反応性： 強酸化剤と反応する。  
 その他の危険性情報：  
 避けるべき条件：熱・火災・その他着火源から遠ざける。  
 燃焼により酸化炭素類や微量の炭素化合物、煤が生じる。  
 避けるべき材料：強酸化剤との混合禁止。

### 1 1 . 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

成分	管理濃度	ACGIH(TLV-C)	IARC	その他の有害性
高分子脂肪族炭化水素	規定なし	TWA 5mg/m <sup>3</sup> STEL 10mg/ m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)	非該当	有用な情報なし

皮膚腐食性： なし  
 刺激性（皮膚・目）： なし  
 感作性： 有用な情報なし  
 急性毒性(LD<sub>50</sub>)： 有用な情報なし  
 亜急性毒性： 有用な情報なし  
 慢性毒性： 有用な情報なし  
 ガン原性： ポリオキシアルキレン：報告されていない。  
 変異原性： 有用な情報なし  
 生殖毒性： 有用な情報なし  
 催奇形性： 有用な情報なし

### 1 2 . 環境影響情報

分解性： 有用な情報なし  
 蓄積性： 有用な情報なし  
 魚毒性： 有用な情報なし  
 その他： この商品は水に対して安定なので、水からは機械的に分離できる。その水は適切な水処理設備を通し処理する。

### 1 3 . 廃棄上の注意

- ・ 内容物、容器等の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 投棄禁止。
- ・ 廃液を焼却処分する場合には、安全な場所で、珪藻土などに吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。燃焼又は爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。
- ・ 製品が付着している容器、機械装置等を洗浄した廃液などは、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
- ・ 排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規

に従って処理を行なうか、委託すること。

- ・ 廃液を埋め立て処分する場合には、予め焼却装置を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。
- ・ 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分すること。

#### 14. 輸送上の注意

- 陸上輸送： 消防法： 指定可燃物 可燃性固体類
- 海上輸送： 船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 航空輸送： 航空法の定めるところに従うこと。
- 国連分類： 該当しない
- 国連番号： 該当しない
- 注意事項： 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を完全に行なう。
- 火気厳禁。
- 容器は、収納口を上方にむけて積載する。
- 容器の外部には、日光に直射及び雨水の浸透がないようにする。

#### 15. 適用法令

- 消防法：指定可燃物 可燃性固体類
- 労働安全衛生法：該当しない
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制（拡散、排出の禁止）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
- 船舶安全法：危険物に該当しない
- 航空法：爆発物等に該当しない
- P R T R法：該当しない
- 毒物及び劇物取締法：該当しない
- 薬事法：日本薬局方
- 化審法：該当しない
- 容器包装リサイクル法
- 都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

#### 16. その他の情報

##### 16.1. 引用文献

原料メーカー発行の製品安全データシート  
13901の化学商品（化学工業日報社）

##### 16.2. J I Sの有無

なし

##### 16.3. 記載内容の問い合わせ先

石原薬品株式会社 第一営業部

電話番号： 078-681-4801

FAX番号： 078-651-6784

---

#### 注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。